



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21  
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内  
☎026(235)2800 FAX026(235)0016  
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／中野欣哉 幹事／宮原友昭 クラブ会報委員長／太田裕志  
SAA／村田弘志 副SAA／佐藤吉朗

第1597回例会 2021年（令和3年）7月16日（金）

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
SERVE TO CHANGE LIVES

会長挨拶

中野欣哉会長



最近思うことではありますが、五輪開催の意義がその決定当時は東日本大震災からの「復興五輪」と位置付け完全な形での開催を世界に発信し「お・も・て・な・し」の精神で運営するということだったと記憶していました。

それがいつの間にやら「新型コロナに打ち勝った証しの五輪」になり安心安全な大会を運営し「世界の団結の象徴」とするということに変わってしまったことは一体どういうことなのでしょう。

「変遷」と捉えればうなずけますが……。

1週間後開催を控えた今、東京の一日の感染者は1300人を越えました。

落語のまくら小噺に

普段よりディスクワークの多い職場の偉い人が、慰安のための運動会をしようと提案し、若手3人をその準備のために起用しました。

張り切った3人はパン食い競争の上等なアンパンを用意したり綱引きの縄を苦勞して借りてきたりと万全の用意が整って当日を迎えたところ

朝からどしゃ降りの雨……

3人すっかり準備におおわらわでお天気の心配を忘れていた

実はこの3人の職場は港区の虎ノ門にある「気象庁」だった

言う間抜けな噺

こうならない様に願いたいものです。

幹事報告

宮原友昭幹事



- ・次週23日は、休会となります。
- ・30日は、クラブ協議会開催 11:30～葵の間
- ・7月24日インターアクト地区大会がオンラインで開催されます。当クラブから、川橋昭

義直前会長・南青少年奉仕委員長・宮原幹事の3名が出席予定です。事務局にて参加予定。

- ・7月25日地区補助金説明会がオンラインで開催されます。対象の方は、よろしくお願ひします。
- ・納涼会のご参加の締め切りが、26日までとなっております。出欠のご提出がまだの方は、事務局までお知らせください。
- ・7月13日に、会長・幹事で長野女子高校訪問。活動費2万円を贈呈。インターアクトクラブは、現在6名在籍。（3年生3名、1年生3名）
- ・元会員の加藤麻樹さんの紹介により早稲田大学人間科学部e-スクールのパンフレットをお配りしました。

7/30 本日のプログラム

ゲスト卓話 羽田和弘さん

例会案内

- 8月6日 納涼会 18:30～於：やま茶屋
- 8月13日 休会
- 8月20日 ゲスト卓話 岡村隆志さん

7/16 (会員35名) 出席27名 出席率84.37%

- ・中野欣哉さん☆藤本さんようこそお越しになりました。宜しくお願ひします。
- ・狩野 土さん☆藤本御老師カンボジアに来年こそ新校舎見に行きましょう。
- ・伊東義次さん☆藤本さん今日の卓話楽しみにしています。
- ・川橋昭義さん・飯田弘己さん☆藤本さんようこそおいでくださいました。
- ・若麻績信昭さん☆オリンピック無観客になって残念。
- ・青木 宏さん☆気軽に例会に出れて嬉しいです。藤本さんようこそ！今日はよろしくお願ひします。
- ・小山浩太郎さん☆山本さん親子共々お世話になります。くれぐれも余計なことは言わないように！

・合計 15,000円 ・累計 76,355円

#### 長野女子高校インターアクトクラブ訪問

コロナ禍仕様の白梅祭も無事終了し一段落のおり会長、幹事で長野女子高IACの部活に訪問し活動費を渡し、懇談してきました。来年の西クラブホストのIAC地区大会に向けより一層の支援を懇願されました。



#### 講師紹介

#### 狩野 土プログラム委員長



藤本さんは、長野南RCの会員でいらっしゃいます。竹村さんが会長をされた折に会長をされておりました。1948年3月25日長野市生まれ。1970年東北大学工学部を卒業され、県の職員になられ、最後に上田高校の校長をされました。その後、佐久長聖高校の校長もされました。現在は、円福寺の理事長であります。今日は、一昨年カンボジア小学校への支援を一緒にさせて頂いたお話を頂く予定です。よろしくお願ひします。

#### ゲスト卓話 藤本 光世さん

#### 「円福友の会のカンボジア支援」



円福友の会について、私の父は2009年(平成21年)99歳で亡くなりました。生前、「戦争のない世界を作りたい。」と生涯の念願としていました。それには、世界で困っている人をくさなければならないと思ひ、ちょうどカンボジアの内戦が始まった頃の40年前に立ち上げました。

カンボジアは、日本から直行便で5～6時間の所です。特徴としては、周りをタイやベトナムなど強い国に囲まれており、生き残るためにシハヌーク国王の時にフランスの植民地となり、ベトナム戦争後の内戦(1970～1991)が、約20年間続き、ポルポト政権の元、当時800万人いた人口の4分の1位は虐殺された。とても貧しく、いろいろな面で影響を受け、搾取されている国であります。

父は、1984年に曹洞宗ボランティア会と連携し、難民キャンプの訪問をしました。それから、支援を広げ1994年に3つの校舎を建設しました。プレアヴィヒア寺院が第二の世界遺産に指定され、プノンペン大学とカンボジアのオーソリティと東京大学にお願ひして山麓の開発を行いました。その時東京大学のチームの団長がたまたま私の親友でした。それらが、私もカンボジアの支援をしようと思ったひとつのきっかけでした。

平成24年頃ツアーを組んでカンボジアへ行った際、御縁があり円福友の会のカンボジアコーディネーターをして頂いているキムさんと出会いました。キムさんは、アンコールワットの日本語ガイドをしていました。校舎建設にあたり、現地で通訳をし、交渉してくれる人が必要でした。キムさんと色々な話をし、自分の考えをしっかりと持った方だと思ひました。2019年には、日本に招き、あちこちの倫理法人会で講演をしてもらいました。キムさんは、図面を書くことも出来、当初は、別でお願ひしようと思ひましたが、5万ドルではリフォームしかできないと言われ、同じ条件で、キムさんをお願いしました。

当時父が建設した校舎が、20年で壊れ、白アリの被害などもあり、どうしようかと考えたのですが、きちんと使うことを約束し、地元の人も協力したら建設しようと思ひました。2016年には、プレイクチェイ小学校、次にタプル小学校を建設しました。もう資金もなく3校目は、倫理法人会に協力してもらい寄付を募り以前父が建設したドンソン小学校を建設しました。

平和な世界が来るよう私も力を尽くしていきたいと思ひています。